



が っ こ う

# 学校だより

よこはましりついできた しょうがっこう  
横浜市立飯田北いちょう小学校  
平成28年 1月号  
がつなのかはっこう  
1月7日発行

**明けましておめでとうございます。  
今年もどうぞ宜しくお願いいたします。**

きょう 今日から2016(平成28)年の学習が始まりました。新たな気持ちでスタートをしたいと考えています。

さて、幕末の動乱期、明治維新を支えることになる優秀な人物を多く育てた「松下村塾」は有名です。テレビドラマでも取り上げられたので、ご存じのことと思います。その塾長だった吉田松陰という人は「夢」について次のような言葉を残しています。

**「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、  
実行なき者に成功なし、故に、夢なき者に成功なし」**



今年も新たな「夢」をもって、その実現に向けて頑張っていきましょう。

## 七草粥



春の七草

日本では1月7日に「七草粥」を食べる風習があります。この風習は、中国より伝わり平安中期頃から始まったという記録が残っていますが、七草を使うようになったのは鎌倉時代からだそうです。

ところで、なぜ七草粥なのでしょう。七草は、早春にいち早く芽吹くことから邪気を払うといわれました。そこで、無病息災を祈って七草粥を食べたのだそうです。

七草には、「春の七草」と「秋の七草」がありますが、「七草粥」で食べるのは、「春の七草」で、「すずな」「すずしろ」「せり」「ほとけのざ」「なすな」「ごぎょう」「はこべら」です。それぞれに効用があり、お正月料理や新年会など、飲んだり食べたりすることの多い時期。疲れた胃腸をいたわり、不足しているビタミンを補うために、最適なメニューだと考えられています。